

これまでの単会の強み、弱みについて

項目	強み、活かしていくこと	弱み、改善・検討していくこと
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> ・全住民を対象とした公益的な活動 ・住民に近い関係を活かした、きめ細かな対応 ・地域住民の相談窓口 ・地域に根ざした特色ある活動 ・地域との連携を活かした、いざという時の防災体制 ・地域福祉の充実 ・防犯活動による子どもたちの安全確保 ・単会会長を交流センター運営委員長とした活動拠点施設としての運営 ・日立市コミュニティ推進協議会など、学区を超えた情報共有体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業や NPO、ボランティア団体等との連携・協力体制の構築・強化 ・住民ニーズの変化や、個人意識の多様化・複雑化への対応 ・コミュニティ活動の認知度、理解度を上げる取組 ・役員の負担や高齢化による担い手及び会員の減少 ・役員等の固定化による活動や考え方の偏り
モノ	<ul style="list-style-type: none"> ・活動拠点としての交流センターの活用 ・山と海に囲まれた環境や、自然災害の少ないことを活かしたまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者の増加や家族構成の変化など、地域を取り巻く環境の変化に対応した安全安心なまちづくり ・坂道の多い地形や、商店街の空き店舗の利活用などへの対応
カネ	<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの安定した財源を活用した自主的な運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政以外からの自主的な財源確保 ・補助金等の使い方の自由度が低い ・ボランティアに対する有償化の自主的な検討
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や経験を有した人材の活躍できる生きがいを感じられる組織 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化への対応、情報管理の複雑化 ・転入者等への地域住民の相談窓口であることのPR
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりのパートナーとして市との連携・協働体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の変化への対応